

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月21日(水)

事務事業		交通等遺児支援事業		担当課	こども青少年課	担当係	子育て支援係	管理番号	30241	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	健やかに成長できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市交通等遺児福祉手当条例／条例施行規則					
	小項目	1	子育て支援の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、交通等遺児（交通事故・病気などで遺児となった義務教育修了前の子ども）を養育している者を対象として、手当および小・中学校入学時に就学支度金を支給することにより、将来への希望を与え、健全な育成を図ることを目指すものである。（交通等遺児 一人につき月額3,000円・ふっかちゃん交通等遺児就学支度金 一人につき30,000円・交通遺児就学支度金 一人につき10,000円）								
目的 ※何のために		交通等遺児の健全な育成を図ることを目的とする。								
対象 ※誰・何を対象に		交通等遺児を養育している者								
手段 ※どのように		手当を支給する（所得制限なし、申請が必要）								
成果 ※何を求めるか		手当を支給することにより、将来への希望を与え、健全な育成を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	1	児童福祉総務費	交通等遺児福祉事業	3,195,000
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	1	児童福祉総務費	交通遺児就学支援事業	0
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	1	児童福祉総務費	ふっかちゃん交通等遺児就学支度金給付事業	450,000
本事業の 主な業務		・交通等遺児福祉手当の支給							・	
		・交通遺児就学支度金の支給							・	
		・ふっかちゃん交通等遺児就学支度金の支給							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	4,360,000	4,720,000	4,570,000	4,210,000		
	決算額	4,290,000	3,645,000	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	540,000	450,000	610,000	610,000	
		一般財源	3,750,000	3,195,000	3,960,000	3,600,000	
人件費	従事職員数（人）	0.20	0.26	0.51	0.51		
	人件費相当試算※	1,552,383	2,046,085	4,180,157	4,180,157		
総事業費試算		5,842,383	5,691,085	8,750,157	8,390,157		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	交通等遺児福祉手当年度末受給者数	目標値	人							
		実績値		72.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標設定することができないため設定していません/台帳登録されている年度末受給者						
	実績値の算出式									
活動指標 2	ふつかちゃん交通等遺児就学 支度金受給者数	目標値	人							
		実績値		15.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標設定することができないため設定していません / 受給対象者数						
	実績値の算出式									
活動指標 3	交通遺児就学支度金受給者数	目標値	人							
		実績値		0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標設定することができないため設定していません / 受給者対象者数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	交通等遺児福祉手当支給額	目標値	千円							
		実績値		3,195.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標設定することができないため設定していません / 年間の受給者への支給金額の合計						
	実績値の算出式									
成果指標 2	ふつかちゃん交通等遺児就学 支度金支給額	目標値	千円							
		実績値		450.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標設定することができないため設定していません / 年間の対象者への支給金額の合計						
	実績値の算出式									
成果指標 3	交通遺児就学支度金支給額	目標値	円							
		実績値		0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標設定することができないため設定していません / 年間の対象者への支給金額の合計						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	交通等遺児福祉手当の受給者数は72人（前年度比9人減）であった。ふつかちゃん交通等遺児就学支度金の受給者は15人（前年度比3人減）、交通遺児就学支度金の受給者は0人（前年度同数）であった。交通等遺児福祉手当の受給者は緩やかだが毎年増加し横ばい傾向にある。手当を支給することで、ひとり親家庭等の経済的負担の軽減を図ることができている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	交通等遺児福祉手当の支給額は3,195,000円、ふつかちゃん交通等遺児就学支度金の支給額は450,000円、交通遺児就学支度金の支給額は0円であった。
			評価者 子育て支援係長 田部井 理恵

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	児童手当の受給者変更等、窓口での手続き時に本手当についても案内・受付を行っている。申請者以外にも該当者がいないかなど、随時既存データ等を用いて抽出作業を行い、丁寧な案内に努めている。
			評価者 子育て支援係長 田部井 理恵

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	特になし
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	交通等遺児支援事業	担当課	こども青少年課	担当係	子育て支援係	管理番号	30241
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		遺児の健全育成を図るため、手当の支給を現状のまま継続とする。また、就学する際の経済的負担の軽減を図るため、支度金の支給も現状のまま継続とする。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	こども青少年課長 美野田 芳二				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	

8. 評価指標グラフ

